

NAB幹部

# Ann Marie Cumming氏 NAB Show 2022 成果を聞く

取材・構成：アーカス・リツコ



NAB Senior Vice President, Communications を務める  
Ann Marie Cumming 氏

NAB Show 2022 の最終日、NAB Senior Vice President, Communications Public Affairs を務める Ann Marie Cumming 氏に 3年ぶりの今回のショーはどう映ったのかなどをインタビューすることができた。



今回のショーは、展示場を3つ (Create、Connect、Capitalize) のゾーンに分け、各会場のテーマを明確にしたことで、来場者が必要な情報を的確に受け取ることができ、これ以上ないほど成功したショーだったと思う。また、ウェストホールに設けたインテリジェント・コンテンツ。これは今回の大きなテーマの一つであるが、体験エリアで革新的なサービスや製品を実際に目にして、担当者の話を聞くことで、

(この分野に懐疑的な人たちも含め) 広い理解を深めることができた。

私はショーの間は基調講演やイベント会場で多くの時間を過ごしたが、そのどれもが好評で、Email や電話で対応できないほどの反響があった。メディアの登録は 800 媒体以上 (そのうち海外は 25%) があり、米国内からは、主要ネットワークの ABC、NBC、CBS などはもちろんのこと、放送業に関する業界誌、専門誌からも多くの取材を受けた。業界誌の記事はジャンルごとに細部にわたり、その内容は主にオンラインを中心に世界中に配信された。

今回の来場者は 5 万人。これまでの半分程度とはいえ、3 年ぶりのリアル開催ということで、熱量を持って真剣に展示会に参加している人が多く、商談が活発に動いた。出展ブースのあちこちでミーティングが行われ、多くの取引が成立したと聞いており、NAB の BtoB としての役割が大きく機能した。

日本からのツアーメンバーへ伝えたいことは、これからの放送業界を担う若手 (Cumming 氏の息子たちと同世代) が NAB Show 2022 に参加してくれたことを大変うれしく思うし、会場で得た知識や経験を生かして将来に役立ててほしいということだ。また、日本はまだ入国時の規制が厳しいと聞いているが、米国をはじめとする世界はビジネスを再開しており、コロナ禍で失われた時間を取り戻すために動き出している。日本の素晴らしいテクノロジーには期待している。来年はもっと多くの方にリアル参加してもらいたいと願っている。



「私の息子たちと同世代」と驚いた若い世代のツアーメンバーとパチリ。  
左端が取材・構成のアーカス・リツコ氏